

植物多様性センターの「常緑樹の落葉と紅葉と新緑」

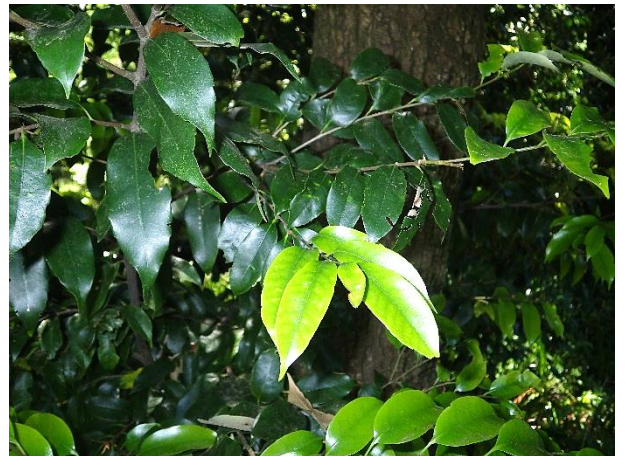
冬も光合成を続けた常緑樹の葉は新緑の季節に落葉し、新芽を出します。新芽がアントシアニンにより赤くなる種もありますが、成長するにつれて緑色となり光合成を活発に行います。

葉が強すぎる光や養分の欠乏、温度ストレス等の環境ストレスにさらされるとアントシアニンが合成され、色が赤くなります。秋の紅葉のメカニズムです。

新芽の紅葉については、春に強くなる紫外線をアントシアニンが吸収し、葉緑体を守っているのではないかと考えられています。



生長した若葉
枝が紫色のクロガネモチ



瑞々しく光る若葉
スダジイ



出たての若葉が赤紫
シラカシ



展開したばかりの葉芽
若葉が赤みを帯びるタブノキ